

2025年9月3日 発行
社会福祉法人 尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ2
看 護 師

まだまだ残暑が続きます。今年は、全国的に9月と10月は平年より気温が高いと予想されており、気象庁は「暦の上では秋でも高温が予想されているので、熱中症対策をつづけてほしい」と呼びかけています。引き続き、園では、こまめな水分補給や休憩を心がけていきます。朝ごはんをしっかりと食べて、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を整え、熱中症を予防しましょう。

《 8月の感染症情報 》

手足口病 … 1名
流行性角結膜炎(はやり目) … 1名

おむつかぶれ

Q おむつは排尿のたびに替える？

A 紙おむつは通気性、吸収力、漏れ防止など高機能化し、最大12時間交換しなくても大丈夫とうたう物まで販売されています。しかし、高機能化しても、尿の成分が皮膚と接触していることに変わりはなく、おむつかぶれの原因になります。また、排尿回数や尿量などの異常にすみやかに気づくためには、日頃から排尿ごとにおむつを交換する習慣をつけておくことも大切です。

暑い日が続くためか汗による、おむつかぶれもみられます。こまめなおむつ替えをして清潔に保つのが一番の予防法です。かぶれてしまったら、汚れや汗をぬるま湯で洗い流し、柔らかいタオルで優しく拭き取り、適切な軟膏を塗りましょう。

防災の日

9月1日は防災の日です。8月30日～9月5日は「防災週間」で、「防災意識を強化する期間」となっています。防災について考えてみるよい機会です。与那原町ホームページの防災マップに「災害への備え」「避難の知識」「緊急避難場所」などが掲載されています。ご家族で一緒に確認してみましょう。

9月9日は「救急の日」

乳幼児期の発達は著しく、いろいろなものに興味を持つようになり、また、思わぬ行動もします。一生のうちでも、最も怪我の多い時期です。常に事故が起こりうることを忘れず、危ないものはないか、部屋を点検し、救急時の対応を確認しましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
(薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など)
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する
(食べ物に喉に詰まることがある)
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないように工夫する

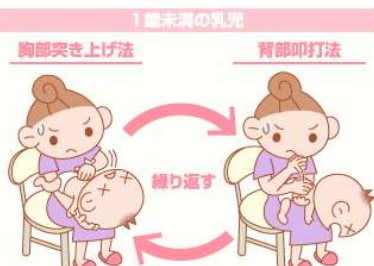
「えっ？そんな小さいもので？」

子どもが窒息？！そのとき、あなたの応急手当が必要です！

突然声が出なくなった、首をおさえ苦しそうにしている、唇が紫色になった、などの場合は 窒息を疑います。「窒息事故」は0～3歳の小さな子どもに多い事故です。口の大きさは直径約4cm。口に入るものは何でも誤嚥(ごえん)や窒息の原因になる可能性があります。

多くの場合、窒息が起こってから、5～6分で呼吸が止まり、意識を失います。そして、心臓が止まり、大脳に障害が起こり、15分を過ぎると脳死状態になります。窒息に気づいたら、すぐに救急車を呼び、来るまでの間、詰まったものを吐き出させるための応急処置をすることが非常に重要です。

あお向けにし、片手で体を支えながら手のひらで後頭部をしっかり押さえ、心肺蘇生法と同じやり方で胸部を圧迫します。
(5、6回を1セット)



片手で乳児の体を支え、手のひらで乳児のあごをしっかり支えながら、もう一方の手のひらのつけ根で乳児の背中をしっかりと叩きます。
(5、6回を1セット)



背後から両腕を回して、片方の手を握りこぶしにし、子どものみぞおちの下に当てます。もう片方の手をその上に当てて、両手で腹部を上を圧迫します。

「オンラインQQ」参照